

課題申請書様式

ソフトウェア開発タイプ

(注)

- 様式上、斜字体で示している部分については申請書作成時に削除して下さい。

本申請の際の情報源(本内容は、選考には関係しません。)

今回の申請に関し、どのような手段で本公募の情報を入手されたかについて該当する項目の□内にし点を記入してください。今後の事業運営の参考とさせていただきます。
以下の中からお選びください(複数選択可)。

- JSTのホームページ
- ダイレクトメール
- JSTのHPIにリンクするメール広告
- 公募説明会
- インターネットのバナー広告
- JSTのパンフレット(パンフレット名: _____)
- 技術フェアやシンポジウム等のブースから
- 所属機関からの回覧等
- 知人等からの紹介
- 新聞、雑誌の記事(雑誌名: _____)
- その他(_____)

ご協力ありがとうございました。

(様式1)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名

平成23年度 課題申請書(ソフトウェア開発タイプ)

開発課題要旨

開発課題名 (20字程度)	
------------------	--

チームリーダー	氏名 所属機関 所属部署 職名	
サブリーダー	氏名 所属機関 所属部署 職名	
ソフトウェア開発 企業 (開発担当者)	氏名 企業名 所属部署 職名	

該当するもの1つに○印をつけて下さい。

()ソフトウェア開発

()プラットフォーム開発

開発期間	平成23年10月1日～平成**年3月31日
開発費	総額 : 百万円 平成23年度 : 百万円 平成24年度 : 百万円 平成25年度 : 百万円 平成26年度 : 百万円

開発課題概要(200字程度)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

開発しようとするソフトウェアについて	
プロトタイプ機の開発時期	既存の計測分析機器のプロトタイプ機を開発した時期を記入 (例)平成17年4月～平成20年3月
プロトタイプ機の測定対象(ニーズ)	対象分野・ユーザーを記入 (例)生体高分子、DNA、半導体デバイス、荷電粒子 等
開発するソフトウェアの種類	以下から選択してください(複数可) ()アプリケーション開発 ()デバイスドライバ開発 ()OS・プラットフォーム開発 ()データベース開発 ()その他
ソフトウェアを搭載した機器の波及効果	応用が期待される分野、産業等を記入 (例)量子コンピュータ、無侵襲医療、遺伝子治療 等
ソフトウェア開発終了後の運用	運用体制、維持・管理のための予算措置、保守・更新体制等具体的な計画を記入

照会先	
氏名 所属 TEL・FAX・E-mail	<u>開発課題の内容もしくは関連分野・技術について、最先端の開発状況(新規性、優位性、波及効果等)を良く御存知の方を2名挙げて下さい(ただしチームリーダー、サブリーダー、分担開発者を除く)。</u>
氏名 所属 TEL・FAX・E-mail	

(様式2)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

開発の概要

下記の項目1.～6.について、合計でA4用紙3～4枚程度で記述してください。

1. 開発課題名(20字程度)
2. 既存のプロトタイプ機の開発経緯・状況(既存のプロトタイプ機開発に当たり利用した制度・事業や技術シーズ・知見も記述)
3. ソフトウェアを開発しなければならない課題・必要性
4. ソフトウェア開発の目標・仕様
5. 開発するソフトウェアの内容、既存のプロトタイプ機の性能、写真
6. ソフトウェアを搭載した機器の波及効果

(様式3)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

開発計画

下記の項目1. ～11. について、合計でA4用紙6～8枚程度で記述してください。

1. 開発実施体制

(図表を用いて、プロトタイプ機を試作した機関、ソフトウェア開発を担う機関、大学等の関係を分かりやすく記述してください。また、担当する機関と当該分担開発者の氏名も記述してください。)

2. 既存のプロトタイプ機の実用化を目指したソフトウェア開発の具体的な開発項目とその進め方 (分担開発者の開発内容、役割分担も含む)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

4. 開発スケジュールの詳細

(平成23年度)

作成した開発スケジュールに基づいて、実施する開発の詳細について年度毎に記述ください。

(平成24年度)

(平成25年度)

(平成26年度)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

5. 開発計画を実現する上で予想される問題点とその解決策

6. 開発を実施する上での知的財産権等の戦略的な取得の考え方

1. 計測機器およびソフトウェアとしての標準化推進のための考え方

8. 開発後にオープンソース化するにあたっての具体的な方針(ソフトウェアの普及方策も記述して下さい。)

9. 倫理面の配慮(該当する場合のみ記述してください。)

10. 開発成果の事業化計画(開発したソフトウェアを搭載した機器・装置の市場での優位性、市場規模、製品化の見通し、事業化に向けての実施体制、取り組み内容、スケジュール、販売目標等について、具体的に記述してください。)

11. 開発の成果によって期待される将来への寄与並びに社会への貢献の内容など(A4用紙半枚から1枚程度)

(様式4)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名

開発経費

1. 費目別・年度別内訳

(単位:千円)

費目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
b. 物品費(消耗品費)					
(内訳)					
c. 旅費					
(内訳)					
d. 人件費・謝金					
(内訳)					
e. その他(外注費)					
(内訳)					
f. その他 (その他経費)					
(内訳)					
合計					

申請経費の内容は妥当であり、有効に使用されることが見込まれるものか、他の経費で措置されることがふさわしい内容となっていないか、購入を計画している開発設備等は、開発遂行上必要不可欠なものであるか等の申請経費の妥当性について判断するためのものです。
開発の遂行に必要な要望額を記入してください。なお、初年度については、開発開始時期を、平成23年10月1日と仮定して計上してください。

(注)「合計」欄には、各費目の合計額を記入してください。また、様式1の「開発費」欄及び様式3の「開発スケジュール(合計)欄」と金額の整合がとれているかを必ず確認してください。

・ソフトウェア開発タイプでは、原則として設備備品費の申請は認められません。

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

2. 設備備品内訳

(1) 主な現有設備

設備名	仕様 製造会社名 型式	用途	使用 年数	主として 使用する 開発者	所有機関	備考

3. 企業が本開発課題で負担することを考えている費用について、「費目」と「全開発期間を通じた概算金額」を記載してください。

企業名	費目	内容	概算金額(千円)

(様式5)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

知的財産等について

記載例

◎(科学太郎)名称:「●●の計測に関する方法」

公開番号:*****

出願人:〇〇大学

発明者:●● ●●、▲▲ ▲▲、■ ■ ■ ■

1. 開発しようとするソフトウェアに関する基本特許等がありましたら記載して下さい。

2. 本事業の開発成果実施の際、支障となる競合他社等の特許がありましたら記載して下さい。その場合に、回避する手段等も記載して下さい。

3. その他関連する先行技術(特許、論文等)がありましたら記載して下さい。

(様式6)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名

他制度での助成等の有無など

本様式に記載いただく内容は、研究資金の「重複提案の制限」や「過度の集中の排除」、および内閣府の保有する「政府研究開発データベース」への登録等に利用されることがあります。

1. 他制度での助成等の有無(申請中、申請予定も含む)

・チームリーダー(氏名:)

制度名	
課題名	
予算額	上記課題において、チームリーダーに助成される研究費の総予算額、および平成 22 年度および平成 23 年度に助成された(される)予算額について、判明している範囲で記載ください。
期間	
上記課題における役割	
本申請との関連性	

複数の制度で助成を受けている場合、欄を追加してください。

・サブリーダー(氏名:)

制度名	
課題名	
予算額	上記課題において、サブリーダーに助成される研究費の総予算額、および平成 22 年度および平成 23 年度に助成された(される)予算額について、判明している範囲で記載ください。
期間	
上記課題における役割	
本申請との関連性	

複数の制度で助成を受けている場合、欄を追加してください。

・分担開発者(氏名:)

制度名	
課題名	
予算額	上記課題において、分担開発者に助成される研究費の総予算額、および平成 22 年度および平成 23 年度に助成された(される)予算額について、判明している範囲で記載ください。
期間	
上記課題における役割	
本申請との関連性	

複数の制度で助成を受けている場合、欄を追加してください。

2. エフォート(専従割合)

本事業で提案が採択された場合の、チームリーダー、サブリーダー、分担開発者のエフォートを記載して下さい。

(記入例)

チームリーダー	〇〇 〇〇	〇〇%
サブリーダー	△△ △△	〇〇%
分担開発者	□□ □□	〇〇%

3. キーワード・分野

申請内容を理解する上で有効なキーワードを、「別添1:キーワード表」から最も近いと思われるもの5つ以内を選び“番号”と“キーワード”を記入してください。キーワード表に該当するものがない場合には、頭に“*”をつけ、独自にキーワードを記入してください。

(記入例) No.1 遺伝子、No.2 ゲノム、No.10 発生分化、* 〇〇〇〇

開発課題が分類される研究分野について、「別添2:研究分野表」から最も近いと思われるものについて主分野は1個、副分野は1~3個以内を選び、“番号”と“研究区分”を記入してください。

(記入例) 主分野:No.101 ゲノム 副分野:No.102 医学・医療、No.104 脳科学

(様式7)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

開発チーム

チーム リーダー	氏名 フリガナ 所属機関 所属部署・職名 郵便番号 住所 TEL FAX メールアドレス	
	所属機関の同意	済み・調整中・未
サブリーダー(チームリーダーと他方の産と学・官に所属する方)	氏名 フリガナ 所属機関 所属部署・職名 郵便番号 住所 TEL FAX メールアドレス	
	所属機関の同意	済み・調整中・未
分担開発者	氏名 フリガナ 所属機関 所属部署・職名 郵便番号 住所 TEL FAX メールアドレス	
	所属機関の同意	済み・調整中・未

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

会計担当者 (中核機関)	氏名 フリガナ 所属機関 所属部署 職名 郵便番号 住所 TEL FAX メールアドレス	
契約担当者 (中核機関)	氏名 フリガナ 所属機関 所属部署 職名 郵便番号 住所 TEL FAX メールアドレス	
事務連絡先 (中核機関) (チームリーダーでも可)	氏名 フリガナ 所属機関 所属部署 職名 郵便番号 住所 TEL FAX メールアドレス	

(注) 分担開発者は全員記述することとし、欄が足りない場合は「分担開発者」の欄を増やしてください。

(様式8)

(ソフトウェア開発タイプ)

チームリーダー名	
----------	--

開 発 者 デ ー タ

*この様式は、チームリーダー・サブリーダー及び分担開発者の全ての者について、各人ごとに作成してください。

1. 氏名(フリガナ)
2. 所属機関・所属部署・職名
3. 生年月日、年齢(平成23年4月1日現在)、性別
4. 研究者番号(府省共通研究開発管理システム(e-Rad)により取得したもの)

5. 最終学歴及び研究開発歴(主な職歴と研究開発内容)

(記入例)

昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程修了

昭和〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部助手

〇〇〇〇〇〇について研究を行い、〇〇〇〇〇の要素技術を構築

昭和〇〇年～〇〇年 〇〇研究所 研究員

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究開発に従事し、〇〇〇〇〇装置を製作

平成〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部教授

〇〇〇〇について研究を行い、民間企業と共同で〇〇〇〇〇システムを完成

6. 主要文献

開発課題の内容に限り、近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち重要なもの5件程度を選んで、現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。開発者が筆頭著書のものについては頭に*印を付けて下さい。

【記載項目】

著者(著者は全て記入して下さい。)・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年)